



八木北ふれあい

令和6年1月31日
流山市立八木北小学校
04(7152)4604
第10号

ありがとうでいっぱい

校長 橋本由美子

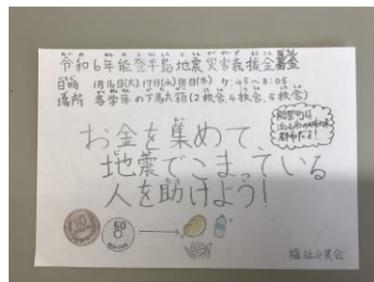
早いもので、もう1月が終わりました。この時期になると

「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」

という言葉に耳にします。1～3月は年度末に向けて1年間のまとめを行うために、月日が足早に過ぎてしまうことを例えた言葉です。特に2月は29日間(今年は閏年のため)しかなく、何もしなければ文字どおり逃げていきます。学校においても3学期は、進級進学に向けて1年間のまとめをする時期となります。職員とは、子どもたちが自分の成長を感じ、周りの人に感謝の気持ちを持ち、明日への希望をもてる3学期にしていくことを共有しました。

2月が「逃げて」しまわないよう学年ごとに、様々な取り組みを企画しています。2月の15日(6年生は16日)に実施する授業参観でも子どもたちの成長を確認していただけるのではないかと思います。ぜひご参観ください。

さて、1月1日に大きな被害を受けた能登半島の方々への、募金活動を児童の福祉委員会が呼びかけ全校で行いました。ポスター、チラシ、校内放送と分担して取り組み、全校で253,865円の義援金が集まりました。子どもたちの自発的な取組に、全校児童が賛同してくれたおかげです。学校外でも個人的に募金をしたという児童もたくさんいました。また、「かがやき学習」でいらしてくださいましたボランティアの方もご協力してくださいました。この義援金は市内全小中学校でまとめたところ5,572,196円になり、市長、教育長にお渡しし、姉妹都市である能登町の教育活動の支援金としてお贈りする予定です。たくさんのご協力ありがとうございました。



学年末も近づいております。今月は、「ありがとうと言ってうれしい、言われてうれしい2月」とし、感謝の気持ちを表したり、相手がうれしいことをしたりと学校中に、そして常盤松中学校区に「ありがとう」を広げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



第2回学校運営協議会(コミュニティスクール会議)報告

1月30日(火)に第2回学校運営協議会を行いました。各学校の学校評価を基に次年度の地域と学校の関わり方の方向性を話し合いました。次年度は子どもの安全・安心を大きなテーマとして地域と学校が協働できる部分を計画・実践していく予定です。



会議の様子

ようこそ八木北小へ ～幼保小交流会(なかよし会)～

1年生は、次年度の1年生となる近隣の幼稚園・保育園の年長児との交流会を行いました。園児にランドセルの体験をやったり、一緒に校内を探検したりしました。この日の1年生はいつも以上に頼もしく、全員が1つお兄さんお姉さんになる自覚をもって取り組みました。最後の見送りでも姿が見えなくなるまで手を振り続け、心温まる交流会となりました。1年生は4月の入学を今から心待ちにしています。



1年生が学校を案内しました。

地域の安全についてみなさんで考えよう

1月29日に見守りボランティアの方、PTA見守り委員と通学路の危険箇所について話し合いをしました。通学路には見通しが悪かったり、歩道が狭かったりとたくさんの危険箇所があります。日頃より登下校のボランティアの皆様方にご協力いただいているところですが、危険箇所に対して人員が十分に配置できていない状況です。保護者や地域の皆様による少しの時間の見守りや、お子様と一緒に登校される際に、周りの児童に声をかけていただけるだけでも児童の安全につながりますので、どうぞご協力をお願いいたします。今後、危険箇所についてホームページ等でお知らせする予定です。



危険箇所の説明

＜お知らせとお願いです。＞

- ・忘れ物等で放課後に来校する場合は事前にご連絡をいただくと幸いです。(対応は18時まで)
- ・2月の定時退勤(16:45)推奨日は28日(水)です。よろしくお願いいたします。